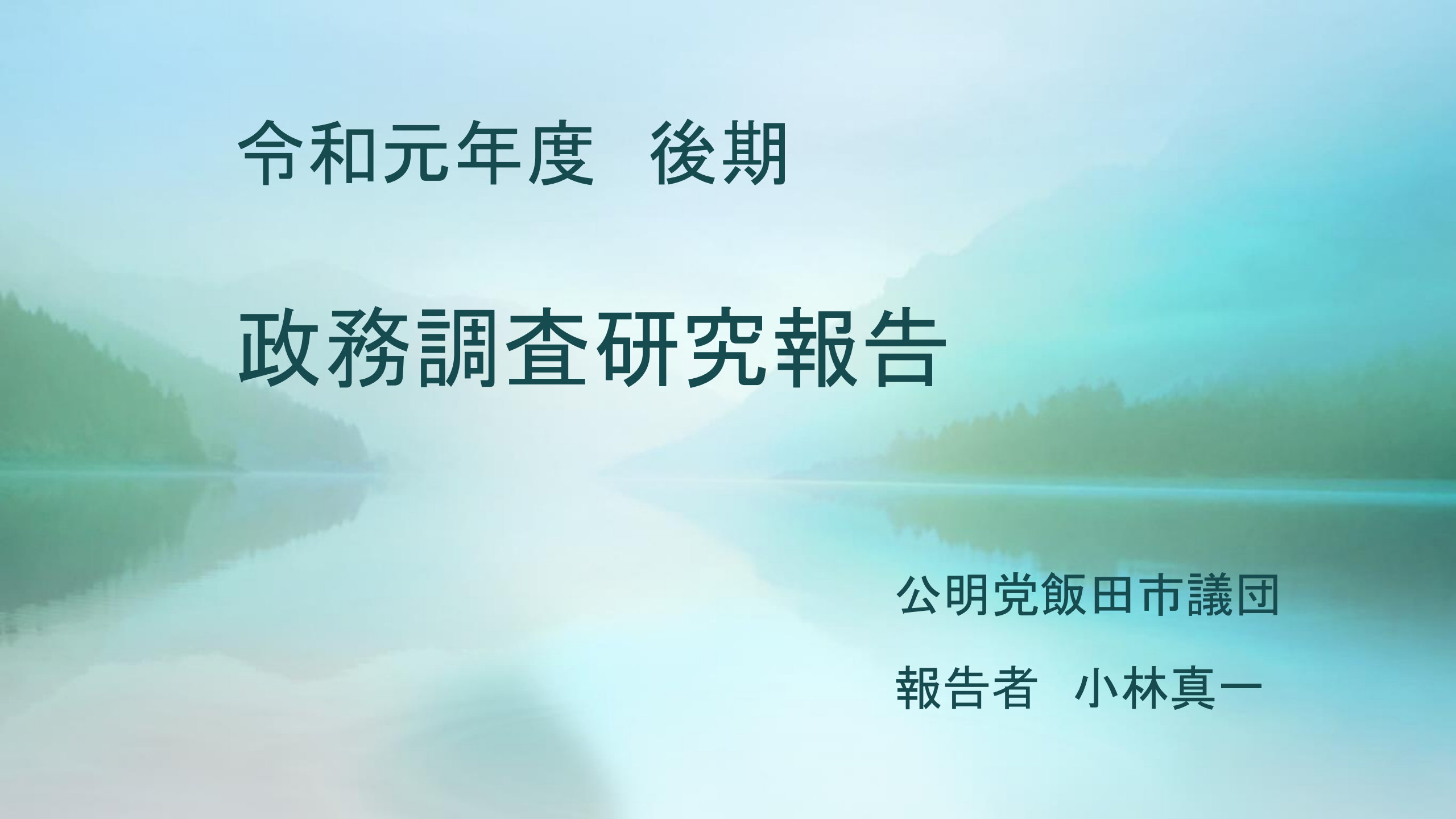


The background of the slide is a soft-focus photograph of a calm body of water, likely a lake, reflecting the surrounding landscape. In the distance, there are rolling hills or mountains partially shrouded in mist or low clouds. The overall color palette is muted, featuring various shades of teal, light blue, and pale green, creating a serene and tranquil atmosphere.

令和元年度 後期

政務調査研究報告

公明党飯田市議団

報告者 小林真一

視察先・調査事項

1.「子ども×若者×大人チャレンジ」の連鎖による 持続可能なまちづくり

日時 令和元年10月28日13時00分～15時00分

場所 島根県 雲南市

説明 政策推進課 松陰 佳子 氏

2.「攻めと守りの定住プロジェクト」

日時 令和元年10月29日10時00分～12時00分

場所 島根県 邑南町

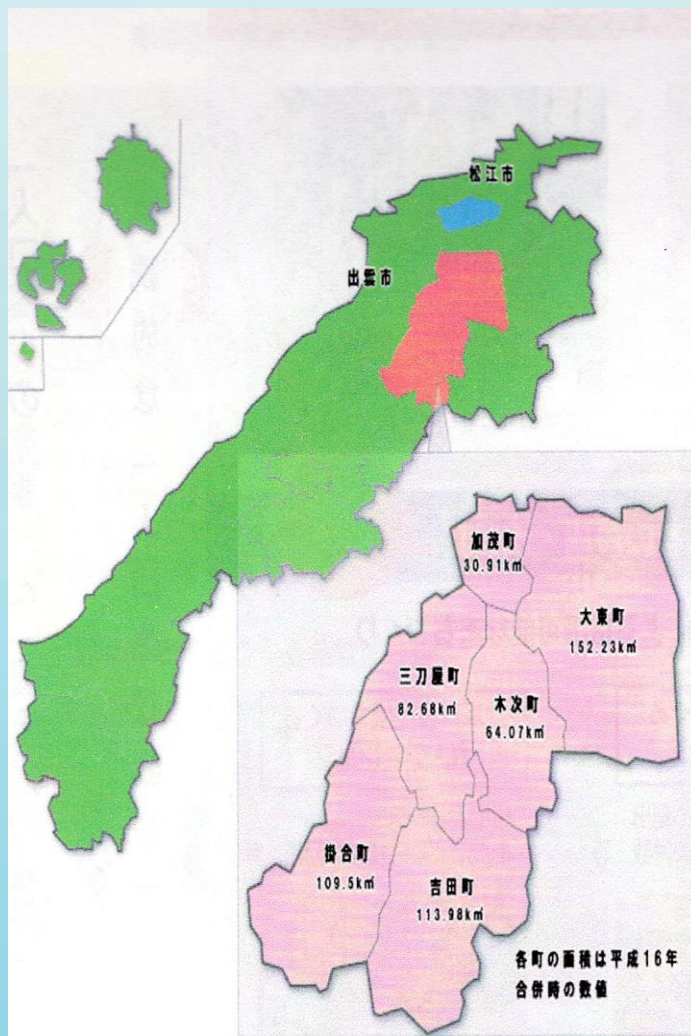
説明 地域みらい課 田村 悟 氏

農林振興課 藤井 勇輝 氏

「子ども×若者×大人×企業チャレンジ」 の連鎖による持続可能なまちづくり

※企業チャレンジは平成31年（令和元年）より追加





面積 ≒
東京23区

(約550km²)

人口
約3万8千人

平成16年11月 合併し誕生



島根県 雲南市の概要

- ・人口約3万8千人
- ・面積約550km²
- ・平成16年11月6町が合併し誕生
- ・高齢化率36.8%
(日本全体平均の25年先)
- ・高い人口減少率

★雲南市総合戦略 ～『人口の社会増』への挑戦～

●戦略1 子育て世代の流出抑制と転入増を図る「定住基盤の整備」

- ①子育て環境の一層の充実…待機児童対策、放課後児童クラブの整備促進など
- ②住まい施策の強化…子育て世帯への住宅購入助成や固定資産税の減免支援など
- ③仕事への支援…企業団地整備と松江自動車道スマートIC設置、UIターン就職支援など

●戦略2 地域課題解決にチャレンジする「人材の育成・確保」

・「子ども×若者×大人チャレンジ」の連鎖による持続可能なまちづくり

①生き抜く力を育む **子どもチャレンジ**

②地域の未来を創る **若者チャレンジ**

③地域自ら地域をつくる **大人チャレンジ**

子どもチャレンジの主な取り組み



○学校教育 × 社会教育

○「学ぶ意欲」や「将来の夢」づくり

○ふるさとへの愛情と主体性を育む



・学校外での学習支援

どうびえいご(小)、ちょびっと留学(中・高)

・保幼小中高の一貫したキャリア教育の実践

「夢」発見ウィーク(企業の話)

幸雲南塾inさんべ(生き方の話し合い)

・学校内外での探究(課題解決)型学習

・教育活動を支える多様な人材

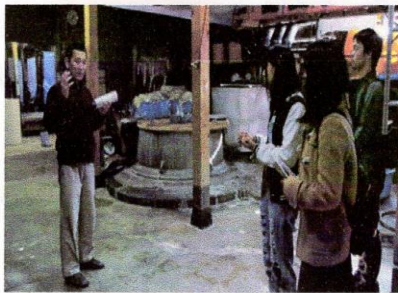
教育支援コーディネーターなど

取組の成果

問い	H27	H30	比較
(高3) 地域課題に対し、解決策を考え、実践したことがある。	50.0	64.6	↗
(高3) ふるさとが好き。	67.9	92.7	↗
(高3) 将来、雲南市で働きたい。	46.4	54.4	↗

問い	時点	小学校	中学校
今住んでいるまちが好きだ。	H28	89.7	
	H19	30.1	
自分には良いところがある。	H28	－	80.8
	H25	－	76.5
学校の授業はよく分かる。	H28	89.7	81.1
	H26	80.8	71.7
「分からない」「できない」と言える。	H28	77.6	85.5
	H26	75.1	79.6
地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。	H28	－	40.3
	H26	－	29.0

【マイプロジェクトアワード高校生参加者】
 (予選大会) H28 5人 (H27 2人)
 (全国大会) H28 2人 (H27 1人)



市内酒蔵と連携した日本酒づくりプロジェクト

○まちづくりへのチャレンジ

- ・地域の魅力を伝える情報誌プロジェクト

地域で活躍する大人を取材し、そこから見えた「魅力」を高校生の目線で発信

○地域課題への関心の高まり

- ・地域課題の解決策を考え実践したことのある高3年生の割合

64.6%

若者チャレンジの主な取り組みと成果



130名以上のローカルチャレンジャーを輩出
本気で地域をつくる若者を育む幸雲南塾

プラチナ大賞“総務大臣賞”受賞

幸雲南塾の取り組みが第4回プラチナ大賞
総務大臣賞を受賞しました。

地域再生大賞“準大賞”を受賞

平成29年度再生大賞において「NPO法人おっちらボ」が
若者チャレンジ支援を通じて準大賞を受賞！！

安倍首相の所信表明演説で紹介

平成30年10月24日、安倍首相の所信表明演説にて雲南
市の若者チャレンジが紹介されました。

日経ウーマン・オブ・ザ・イヤーを受賞

幸雲南塾1期生の矢田明子さんが「コミュニティナース」育成
事業でウーマン・オブ・ザ・イヤーを受賞！！

○若手人材を育成する「幸雲南塾」
による 志ある若者の誘致・育成による地
域課題の解決

○中間支援組織や都市圏の社会起業家
等と連携し、若者の人材育成塾「幸雲南
塾」を通じて、課題解決スキルをもつ若者
の育成・確保と課題解決ビジネスの創出
を図る

○都市圏より地方起業に関心のある人材
の誘致

○2011年から市が主催する次世代育成
事業「幸雲南塾地域プロデューサー養成
講座」を開講。社会起業や雲南市の地域
貢献を志す若者の企画立案等のサポー
ト

※現在は、幸雲南塾を卒業した有志がプ
ラットフォームとして設立した「NPO法人
おっちらボ」が塾を運営

設立した「NPO法人おっちラボ」



志ある若者（プロフェッショナル人材）の育成・流入
H27年度以降の実績として、およそ50名が移住。関係人口も増加

企業事例 訪問看護ステーション「コミケア」

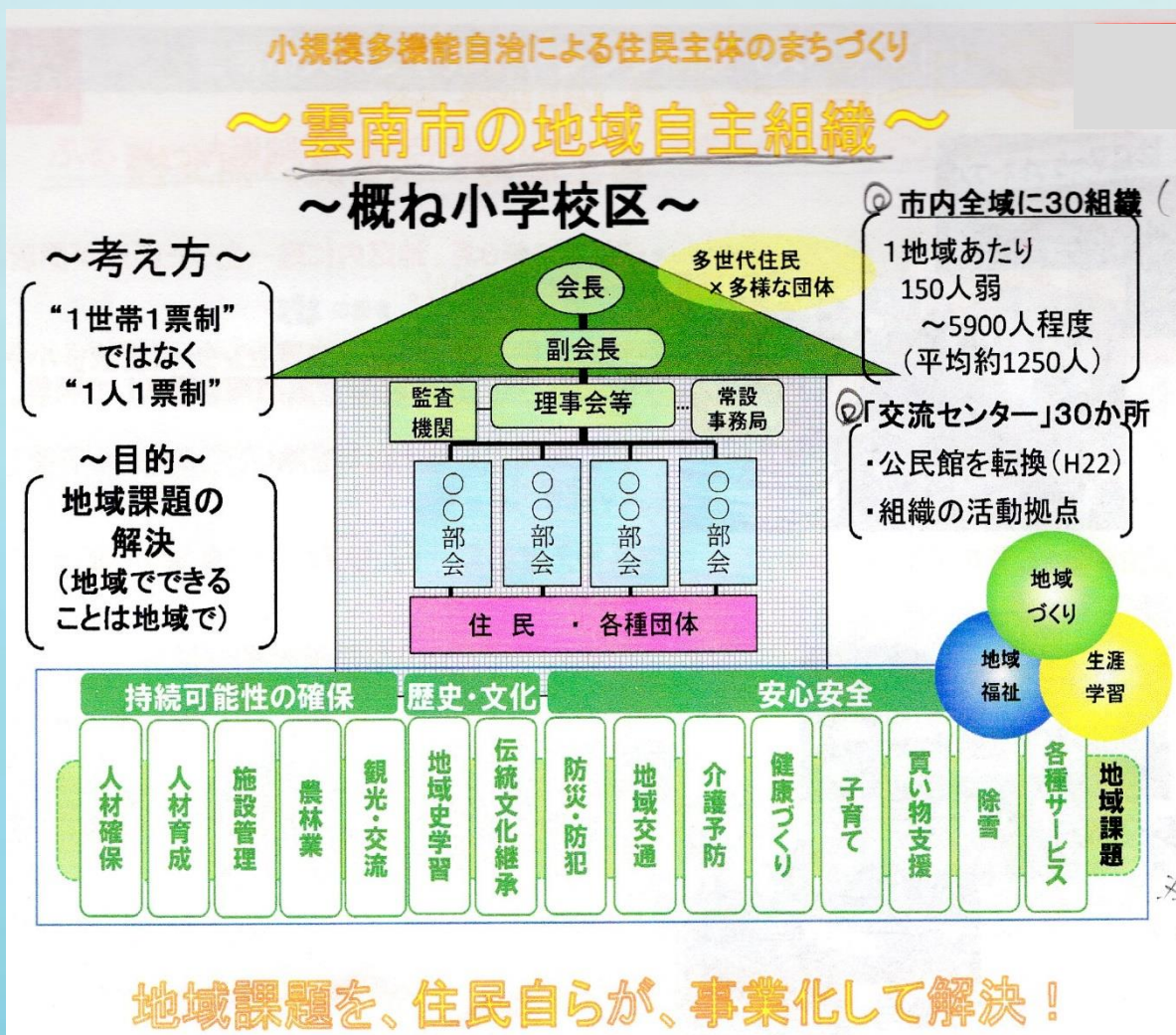


民間が手を出さない在宅医療空白区に在宅医療を！
AI化によりロスを少なく

3人の若い看護師により
訪問看護ステーション
「コミケア」開設。
現在は14人に拡大

全体として
およそ60名の新規雇用。およそ3億円の経済波及効果

大人チャレンジの主な取り組み



○地域自主組織
(小規模多機能自治による住民主体のまちづくり)

・考え方:「1世1票制」ではなく「1人1票制」

・目的:地域課題の解決(地域でできることは地域で)

地域課題を住民自らが
事業化して解決

取組の成果

①躍動と安らぎの里づくり鍋山

・「まめなか君の水道検診」

市の水道局から水道メーター検診を地域が自発的に受託、各世帯の声がけ見守り、顔が見える関係

・「24時間のSOS受信」

キッズケータイを独居高齢者に配布、しばらく電話がなければ逆コールの安否確認

・「躍動鍋山ささえあい事業」

生活支援・集いの場等への課題やニーズ把握、調査を実施し地区内の人材、社会資源を発掘

②波多コミュニティ協議会

・自主組織による買い物支援

地区内に唯一あった商店が閉店、地域拠点の交流センターの一室に棚や冷蔵庫を導入し「はたマーケット」をオープン。

品揃えは野菜、肉、飲料、加工食品、酒など800品目

「たすけ愛号」(地域内だけを運行する車両) 買い物支援のみならず、安否確認やひきこもり防止など福祉機能も発揮

雲南市 視察 まとめ



- ・生き抜く力を育む「子どもチャレンジ」により、地域課題への関心が高まり、地域課題の解決策を考え実践したことのある高3年生の割合が64.6%に上昇した。飯田市における地域人教育と似たような取り組みであると感じた。

- ・地域の未来を創る「若者チャレンジ」として、若手人材を育成する「幸雲南塾」により志ある若者の誘致・育成による地域課題の解決が行われている。

- ・2011年から市が主催する次世代育成事業「幸雲南塾地域プロデューサー養成講座」を開講し社会起業や雲南市の地域貢献を志す若者の企画立案等のサポートを行っている。現在は、幸雲南塾を卒業した有志がプラットフォームとして設立した「NPO法人おっちラボ」が塾を運営している。

- ・地域自ら地域をつくる「大人チャレンジ」として、地域自主組織（小規模多機能自治による住民主体のまちづくり）により、地域課題を住民自らが事業化して解決している。

「攻めと守りの定住プロジェクト」



島根県 邑南町の概要

島根県中央部の山間にある自然豊かな町



人口: 10,693人
(H31年4月1日現在)

男: 5,105人/女: 5,586人

世帯数: 4,887世帯

高齢化率: 44.1%

面積: 419.29km² (山林86%)

主な産業: 農林業

★攻めと守りの定住プロジェクト(平成23年度～)

- 守りの日本一の子育て村 (10年間)
+徹底した移住者ケア

「日本一の子育て村」を目指す施策を「**守り**」と位置付ける。

- 地域課題解決攻めのA級グルメ構想 (5年間)

まちの資源を使い、人を呼び込むための施策を「**攻め**」と位置付ける。

●国税調査による 平成22(2010)年と平成27(2015)年の年齢人口比較

	0歳	3歳	7歳	12歳	15歳	18歳
平成22(2010)年	71人	70人	76人	76人	99人	51人
平成27(2015)年	74人	75人	96人	80人	115人	58人

●国立社会保障・人口問題研究所 将来人口推計(総人口)

※人口推計がプラスに変化

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
平成25年推計	11,031人	10,128人	9,291人	8,551人	7,877人	7,237人
平成30年推計	11,101人	10,267人	9,471人	8,749人	8,090人	7,454人

●国立社会保障・人口問題研究所 将来人口推計(年少人口)

※15歳未満の人口推計もプラスに変化

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
平成25年推計	1,140人	1,006人	886人	796人	738人	697人
平成30年推計	1,182人	1,102人	1,015人	929人	849人	786人

●U・Iターン者数

島根県内市町村のU・Iターン者数と20～30代女性の数

	U・Iターン 者数	うち20～30代女性			合計	20～30代 女性の割合 (%)
		Uターン	Iターン	不明		
松江市	1,383	230	125	0	355	25.7%
浜田市	226	34	11	0	45	19.9%
出雲市	1,111	152	107	0	259	23.3%
益田市	297	39	29	0	68	22.9%
大田市	114	11	7	1	19	16.7%
安来市	235	31	26	0	57	24.3%
江津市	164	20	14	0	34	20.7%
雲南市	145	13	14	0	27	18.6%
奥出雲町	65	6	4	0	10	15.4%
飯南町	21	1	5	0	6	28.6%
川本町	25	4	3	0	7	28.0%
美郷町	32	3	3	0	6	18.8%
邑南町	100	15	10	1	26	26.0%
津和野町	81	5	6	0	11	13.6%
吉賀町	75	7	8	0	15	20.0%
海士町	28	0	4	0	4	14.3%
西ノ島町	18	1	3	0	4	22.2%
知夫村	4	0	0	0	0	0.0%
隠岐の島町	128	16	12	0	28	21.9%
県計	4,252	588	391	2	981	23.1%

【島根県の調査結果】

平成27(2015)年度
のU・Iターン者は
100名

20代～30代の女性
は26名で全体の
約4分の1を占める

20代～30代の女性
のうち約4割がIターン
者

★「守り」…日本一の子育て村を目指して

◎子育て支援の目玉施作

①中学校卒業まで医療費が無料

②保育料第2子目以降完全無料

③安心な医療体制
24時間救急受付

④ドクターヘリによる救急対応

○その他

●子どもが病気の時も安心…町内2箇所の病児保育室で看護師と保育士が看護対応

●学校図書室の充実

●県立矢上高校への支援…保護者負担軽減
(寮費、バス通学定期…遠くても選びやすい)

補習授業の講師に現役東大生

●医療福祉従事者確保奨学金制度

●農林業後継者育成基金(奨学金)

●邑南町奨学金貸与事業

●地域で子育て…子育て支援ポイント付与制度、「地域学校」の実践

★「攻め」のA級グルメ構想

●A級とは？…**高級**ということではなくここでしか味わえない**食や体験**

●なぜA級か？…①生産者が一生懸命作った産物は**A級品**である

②商品の評価は高いが、生産量が少ないため都会で扱ってくれない



来てもらうという発想に（良い物は都会へという発想変換）

③生産者の**自信・誇り**につながる

●A級グルメとは？…地域の**誇り**を育む



美味しいものは地方にあって、美味しいものを知っているのは
地方の人間である

・ 邑南町農林商工等連携ビジョン

H23年度～H27年度(5カ年計画)

コンセプト…『A級グルメ』～ここでしか味わえない食や体験～

{成果を数値化(5年間)}

項目	目標	結果	達成率
①定住者の確保	200名	240名	120%
②観光入込客数	100万人	92万人	92%
③起業家数	5人	43人	860%

・A級グルメの取り組み

①地産地消レストランの立ち上げ

AJIKURAの立ち上げ

(邑南町観光協会)

・コンセプト

日本の飲食店改革を邑南町から
～三ツ星レストランは地方にあるべき～

(例: ヨーロッパ)

※H27年度から民間へ移行

(株)ローカルフードラボへ

AJIKURA入込客と売上推移

年度	入込客数	売上高	営業日数
H23	8,198人	17,975,965円	279日
H24	10,378人	23,679,280円	310日
H25	7,455人	19,884,380円	310日
H26	7,273人	26,058,773円	308日
(株)ローカルフードラボへ移行			
H27	7,394人	31,428,568円	286日
H28	7,867人	31,163,690円	292日
合計	48,565人	150,190,656円	1,785日
年平均	8,094人	25,031,776円	298日

AJIKURA



AJIKURA



・A級グルメの取り組み

②食の学校の立ち上げ(邑南町観光協会)

コンセプト・・・100年先の未来の子供達へ継承する食文化

③農の学校 ふれあい体験農園を活用した有機農業の普及

④地域おこし協力隊 シェフと農業の研修制度

邑南町 視察 まとめ



・移住者に住み良いまちづくりとして移住・定住に向けた相談や定住後のフォローを行う専門員の配置など、U・Iターン者へのきめ細かな支援を行っている。

・平成27年度では、U・Iターン者100名のうち、20代から30代の女性が26名で全体の4分の1を占め、4割がIターン者である。邑南町の「日本一の子育て村」の取り組みを今後の参考にしていきたい。

・攻めのA級グルメ構想は、地域食材を活かした食の提供を通して、農業振興、地域経済振興、定住促進、環境保全に取り組む施策であり、とても優れた政策だと感じた。

ご清聴ありがとうございました

